

1. 基本情報

評価対象年度 (29 年度)

施策コード	331		施策名	青少年の健全育成				
将来像	3	子どもたちを健やかに育むまち(「人づくり」の分野)						
まちづくりの基本目標	33	青少年や若者が希望や夢を持つことができるまち						
主担当部	子ども家庭部		主担当課	児童センター		主担当係	児童青少年係	
担当者	矢ヶ崎 直美		役職	子ども家庭部		内線	240	
関係課	企画課	地域包括ケア推進課	子育て支援課	子ども家庭支援センター	教育総務課	指導課	生涯学習スポーツ課	

2. 施策の方向

10年後の姿	次代を担う青少年が自己実現をしながら幸せで自立した社会生活を送っています。大人は子どもの人権を大切にし、乳幼児期から青年期までのライフステージを見守り、育ちを支えています。		
施策の方向性	1	青少年の人間性・社会性を育みます	
	2	悩みや問題を抱える青少年に寄り添った支援をします	
	3	地域を上げて青少年を育成する体制を整えます	
	4	青少年の居場所を充実します	

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

No.	事務事業名	実行計画	施策の方向性	担当課	平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算
0102010801	計画行財政推進事業	対象	4	企画課	7,984	4,688	6,423
0103010136	地域福祉計画策定事業		すべて	地域包括ケア推進課	994	3,923	0
0103020106	子ども・子育て支援事業	対象	すべて	子育て支援課	198	261	2,019
0103020501	青少年問題協議会事業		3	児童センター	1,905	1,962	1,843
0103020503	青少年委員活動事業		3	児童センター	1,136	1,097	1,098
0103020504	放課後子ども教室推進事業	対象	3、4	児童センター	25,981	25,740	27,421
0103020804	児童センター事業		すべて	児童センター	5,110	6,177	5,992
0103020902	子ども家庭支援センター事業	対象	すべて	子ども家庭支援センター	49,394	53,010	53,084
0110010206	奨学資金貸付事業		3	教育総務課	2,220	2,160	2,400
0110010302	教育相談センター運営管理事業	対象	1、2	指導課	8,318	7,626	7,795
0110050105	成人式開催事業		1、3	生涯学習スポーツ課	106	113	220
0110060103	スポーツ推進委員活動事業		1	生涯学習スポーツ課	1,739	1,735	1,953
0110060105	学校体育施設等開放事業		1	生涯学習スポーツ課	137	42	156
0110060201	清瀬内山運動公園等管理事業	対象	1	生涯学習スポーツ課	146,863	181,311	85,204
総事業費(施策の合計)					252,085	289,845	195,608

4. まちづくり指標

指標情報				平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度	平成37年度
①	名称	市内の子どもや若者は健全に育っていると思う人の割合		目標値	—	—	50.0	55.0
	説明	単位	%	実績値	—	48.2		
	抽出方法	市政世論調査(平成29、32、35、38年度実施)		達成率	—	—		
②	名称	子どもや若者が地域で見守られていると思う人の割合		目標値	—	—	33.0	38.0
	説明	単位	%	実績値	—	32.0		
	抽出方法	市政世論調査(平成29、32、35、38年度実施)		達成率	—	—		

5. 評価(平成29年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果 (「3. 構成事業 の状況」「4. まち づくり指標」)に 対する評価	総合評価 (成果、投入財源等を 総合的に評価)	維持
(仮称)清瀬駅南口地域児童館の整備については、子育て世代の市民によるワークショップを開催し、あるべき児童館像に関する意見の把握を行い、整備に向けて取り組みを開始した。また、青少年を対象にした各種スポーツの記録会や大会の参加者数は増減があるものの数字に大きな差はなく、学年が変わっても事業の認知度は高い。これらスポーツ活動を通し達成感を得ることや協調性を身につけることで自己肯定感が高まり、清瀬市の青少年健全育成が図られた。また、各児童館が子どもの安全な居場所としての役割を担っている。		

※順調「10年後の姿」の達成に向け、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
維持「10年後の姿」の達成に向け、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
停滞「10年後の姿」の達成に向け、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

外部要因	状況	外部要因に対する評価	評価理由
市民ニーズ の状況	青少年育成への関心や期待が高まっている。	3. 施策の必要性を高める	少子化の進行や人間関係の稀薄化など、複雑な社会環境の中において、地域で青少年育成に取り組むことがますます求められる。
将来人口 の推移	今後、対象となる子どもは減少する見込みであるなか、将来を担う青少年の育成の施策は重要である。	3. 施策の必要性を高める	少子化対策のためにも子育て施策の充実が必要とされる。
他自治体 との比較	近隣市に比べて整備されたサッカー場があり、サッカーの大会や各クラブの練習が頻繁に行われている。	1. 施策遂行に役立つ・有利	スポーツを通じた青少年育成ができる。
民間企業・NPO ・市民の動向	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、NPOや企業のスポーツビジネスへの参入、スポンサーなど露出度が高くなっている。	1. 施策遂行に役立つ・有利	これまで以上にスポーツに関心が出ることで、スポーツを通して地域の子育てを支える重要な役割を担う。
法・制度改正 の動向	子ども・子育て支援新制度において、平成31年度までに、放課後子ども教室の拡充(全国で約30万人の受け皿)や学童クラブと一体型の連携事業の実施が謳われた。	3. 施策の必要性を高める	制度改正に伴い既存事業の見直しを行い、より実態に合った事業展開が期待される。

7. 施策を進める上での課題

①	<p>施策を進める上での課題</p> <p>平成30年度中に(仮称)清瀬駅南口地域児童館基本構想の策定に目途をつける必要がある。今後、子どもや南口地域の市民、子育て支援や青少年健全育成のステークホルダーなど、多様な意見を把握することが求められている。また、公共施設再編の取組みの方向性を踏まえた整備の検討が求められている。</p> <p>関連する事務事業名</p> <p>計画行財政推進事業 児童センター事業</p> <p>現在の取組状況</p> <p>平成29年度末、子育て世代の市民によるワークショップを開催し、あるべき児童館像に関する意見の把握を行った。また公共施設再編の取組みの方向性については平成30年度中に公共施設再編計画を策定する。</p> <p>平成31年度以降の取組</p> <p>基本構想の策定に向けて児童センターと企画課が協働している。児童センターは主に児童館行政の現状と課題、あるべき児童館像の検討を、企画課は主に整備手法の検討、公共施設の現状と課題を検討することになっている。また、整備予定地域における公共施設再編を具現化する地域計画の検討は平成31年度以降に着手する。</p>
②	<p>施策を進める上での課題</p> <p>特別支援教室の設置等で小学校の余裕教室が減少しており放課後子ども教室を実施する教室確保が困難な状況になってきている。今後数年間学校によっては生徒数の増加に伴い、更に余裕教室が減少する事が予想される。そのため、場所の確保が課題となっている。また、コーディネーターや学習アドバイザーなどが高齢化しており、後継者の確保も課題となっている。</p> <p>関連する事務事業名</p> <p>放課後子ども教室推進事業</p> <p>現在の取組状況</p> <p>放課後子ども教室を行っている芝山小学校の余裕教室が特別支援教室等の設置により平成30年度から利用できなくなったため、平成30年度当初は放課後子ども教室を開催できなかったが学校の協力により教室確保の調整ができ、5月末より開催している。</p> <p>平成31年度以降の取組</p> <p>放課後子ども教室は、学校の余裕教室を使用して実施することを基本にしている。放課後子ども教室は子どもの安全な居場所として市民に認知され期待されている。授業に影響の無い範囲で放課後子ども教室を実施するためには、他施設の活用等を検討する。</p>